

大館の歴史散歩

地域の事跡
と人 ⑤

地域とともに歩んだ85年

伊藤 嘉太郎

市内の野菜生産の中心地としての地位を確立し、現在に至っている上川沿地区。この地に長きにわたり農業政策を施し、全国の優良村長として推奨の榮譽を得たのが、上川沿村第四代村長伊藤嘉太郎である。

嘉太郎は、慶応三年（一八六七）一月、上川沿村小館花に生まれた。伊藤家は、小館花の旧家の一つであった。

彼は、上川沿村長として明治四十一年から昭和二十年までの九期三十七年間在職した。その間、近世以来大館町に市や荷賣売りによって供給していた野菜に村の発展を見だし、寒冷地での栽培を克服するために他町村にさががけて大正八年から農



嘉太郎の胸像

業技術員をおき、優れた栽培技術の導入を図り積極的に広めた。そうして始まったのが、温床育苗による促成栽培であった。促成栽培の導入で生産量が増加し、大館町はもとより当時鉦山の繁栄で人口が急増していた花岡地区を供給先として、地区農家の収入安定が図られた。

農林省では、昭和四年に主要農産物の生産増加と農村振興の一環として、大館町に農林省指定陸稲試験場を創設した。昭和六年、九年の冷害を契機に、昭和十年から凶作防止畑作試験がそこで実施されるようになったが、嘉太郎の施策は地域農業の先鞭を期したものといえる。また、嘉太郎は、山館沢に八十町歩の杉林（後に財産区有林となる）を造成した。後年、そこからの収入は、地区の土地改良事業や旧公民館建設の資金となるなど、地区に恩恵をもたらした。

彼の農政への事跡は、昭和二十五年に上川沿村が野菜の特産地として県知事指定を受けて実を結んでいる。

嘉太郎は、近隣町村長の信望も厚く、郡農会長、郡町村会長も務めている。郡町村会長当時、彼は、大館町への硫酸製造工場の誘致、探鉱奨励補助金の増額を商工省へ陳情するなど、工・鉱業界にも実績を残している。

昭和二十六年六月五日、嘉太郎は八十五年の生涯を閉じた。彼の功績をたたえる胸像が昭和三十七年五月旧上川沿村役場跡地に建立（後に現在の上川沿公民館敷地に移す）され、今もなお地域の発展を見守っている。

〔参考文献〕東北振興調査会要覧、上川沿村誌、秋田県農業試験場百年史

市役所史跡探訪会

私の本棚

中央図書館新着図書

『宇宙よ』

立花隆・秋山豊寛 共著 文芸春秋社

ソ連の宇宙船ソユーズに乗り、日本人として初めて宇宙を飛んだ宇宙飛行士秋山豊寛。飛行訓練から帰還までの全プロセスにわたって興味ある話が満載。ジャーナリスト立花隆との対談による宇宙からのメッセージをつづった一冊。



◇とり残されて（宮部みゆき）◇魚の小骨（阿刀田高）◇B29の行方（花木深）◇神々の消えた土地（北杜夫）◇世間知らずの高枕（山本夏彦）◇白く長い廊下（川田弥一郎）◇流水の来る街（中村圭三）◇インド四季暦（阿部慈園）◇マネの肖像（吉田秀和）ほか

◇ズッコケ3人組の未来報告（那須正幹）◇絵でみる世界大恐竜地図（フォルナリ）◇セッターはおれた（茨木昭）ほか

10月のテーマ関連図書コーナー

『名所・旧跡』

親子読み聞かせ会

毎月第1金曜日 午後2時30分から

中央図書館の休館日

10月18日、22日、11月3日、15日

クイズ 広報 おおだてがヒント

- ▽問題
- ①進学に関するアンケート調査で、女子生徒の志望が一番多かった学科は何？
 - ②大館市老壮大学は今年で開校何周年？
 - ③航空国際フェスタ'92が開催されたのは何市？
 - ④秋田県最低賃金は1日何円？
 - ⑤秋の全県火災予防運動の期間は？
- ▽応募方法
- ハガキに住所、氏名、年齢、性別、答え（例①—②—）を書いてご応募ください。
- ※応募総数93、全問正解者71。
- ▽締め切り
- 10月30日（金） 当日消印有効
- ▽応募先
- 〒017 大館市字中城20番地 広報おおだてクイズ係
- ※全問正解者の中から抽選で5人にオリジナルテレホンカードを贈ります。
- ▽9月16日号の答え
- ① 9月23日
 - ② 長木川市民ひろば
 - ③ 金八鶏
 - ④ 9月21日
 - ⑤ 6件
- ▽9月16日号の当選者
- ・西村幸恵さん（大町）
 - ・川口知昭さん（神山）
 - ・浪岡祐貴さん（水沢）
 - ・織田慶子さん（旭ヶ丘）
 - ・鈴木綾さん（本郷上）